0 序文

2024年11月11日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

- 当組合は、食と農を基軸とし地域に根差した協同組合として、助け合いの精神のもと持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げ、この理念のもと、コーポレートスローガン及び「JA加賀の基本方針と基本目標」を掲げております。これらをもとに、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」(「比較可能な共通 K P I 」)も同時に公表いたします。

加賀農業協同組合

1 組合員・利用者への最良・最適な商品の提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 組合員・利用者の皆さまの一人ひとりに寄り添って気軽に相談できる金融相談機関として、金融知識・経験・ 財産の状況やニーズ・目的等をお伺いし、皆さまにふさわしい商品・サービスをご提案させていただきます。また、 長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の 組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外	
信券型	1	7	
順分 空	(前年度末:1)	(前年度末:6)	
1/1 −1` πι	4	6	
株式型	(前年度末:4)	(前年度末:6)	
DEITHU	2	2	
REIT型	(前年度末:2)	(前年度末:2)	
パニヽフ#川	8		
バランス型	(前年度末:8)		

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債 投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

長期投資

▶ 長期投資を前提とした投資信託であること

手数料

▶ 手数料が良心的な水準であること

運用実績

▶ 過去の運用実績が相対的に良好であること

将来性

▶ 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資 信託ではないこと

運用体制

- ▶ 運用体制について、外部機関の評価を得ていること
- ※商品選定の考え方: JAバンクHP https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi sintaku/select/

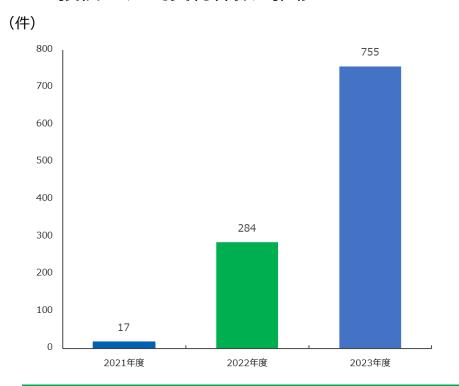
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①(1)信用の事業活動

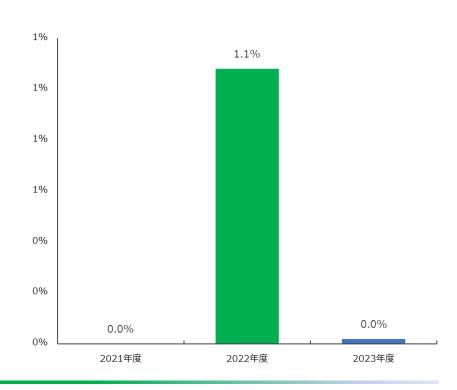
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、 原則6本文および(注1、2、4、5)】

• 組合員・利用者の皆さまとの対話を通じて、一つひとつの疑問や、大切な部分をしっかりご説明し、 皆さまのご意向を十分に確認したうえで、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切 な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」 を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下い たしました。

く投信つみたて契約件数の推移>

<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



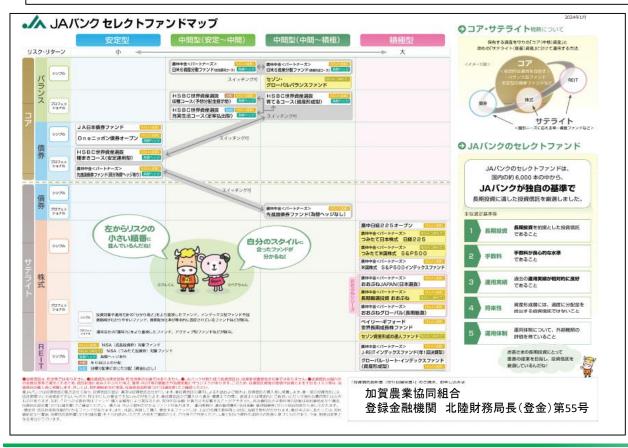


2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(1)信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまの投資・商品選択の判断に資するよう、「JAバンクセレクトファンドマップ」を作成し、商品のリスク特性について資材を提供するとともに、皆さま目線に立ったわかりやすい説明を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。





3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、利益相反管理方針に基づき、 適切に管理しております。
- 営業部門から独立した監査室を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型 (例:経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合)
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引 (例:接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離 した水準で取引を行う場合)

【原則2本文および(注)、原則6 (注5)原則7本文および(注)】

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

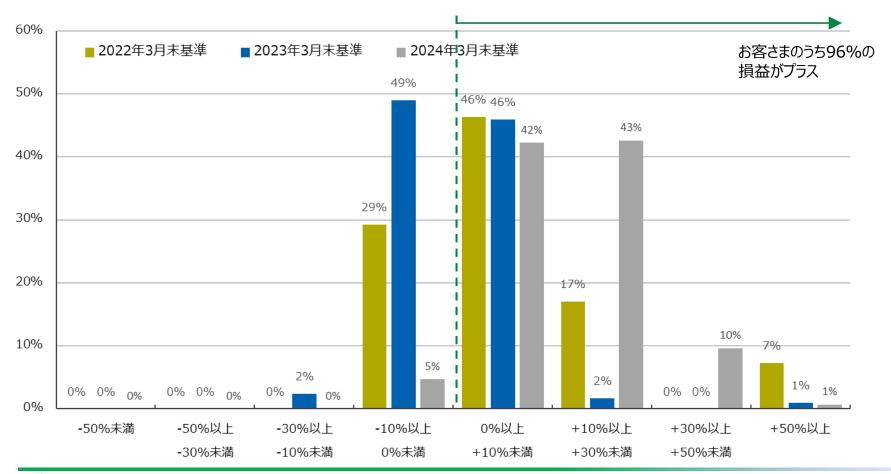
- 当組合は、研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- また、組合員・利用者の皆さまから頂いた「声(お問合わせ・ご相談、ご要望、苦情など)」を誠実に受け止め、業務改善に取り組みます。

② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

• 当組合は、組合員・利用者の皆さまの声を業務改善に活かすため、定期的な P D C A 会議をはじめ、店舗内勉強会やフォローアップ研修を実施しております。

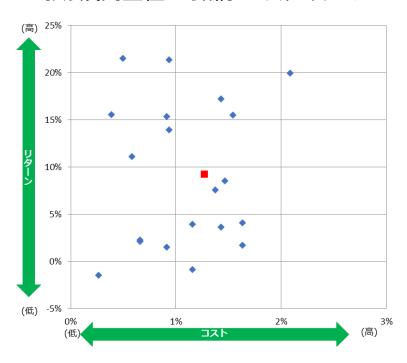
1 運用損益別顧客比率(投資信託)

• 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の96%のお客さまの損益がプラスとなりました。

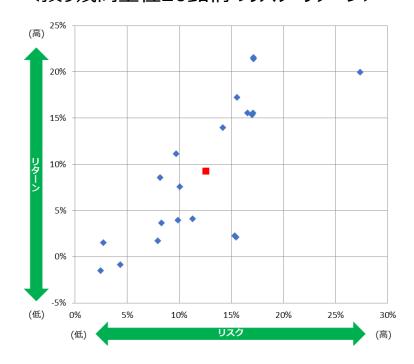


- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3) (2024年3月末)
 - JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づき チェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.27%、平均リスク12.55%に対して、 平均リターンは9.25%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



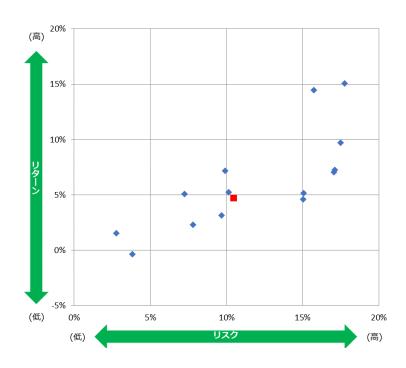
- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2023年3月末)
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.13%、平均リスク10.48%に対して、 平均リターンは4.71%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

(低) -5% (低) -5% (低) -5% (低) -5% (高) (高)

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

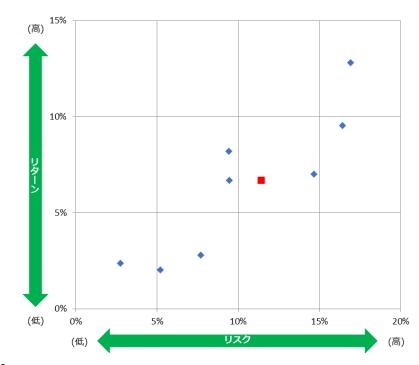


- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3)(2022年3月末)
 - 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.14%、平均リスク11.42%に対して、 平均リターンは6.67%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3)(2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米 6 資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
6	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
8	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
10	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
11	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
12	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
14	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
15	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
16	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
17	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
18	DIAM八ッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	3.64%	8.31%	1.43%
19	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
20	J – R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値			12.55%	1.27%

^{※ 2024}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は20本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
5	One二ッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.76%	0.91%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
8	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
10	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
11	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
12	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
13	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	2.31%	7.81%	1.43%
14	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.71%	10.48%	1.13%

^{※ 2023}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は14本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3)(2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
2	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
4	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
5	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.02%	5.21%	1.05%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
8	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/	残高加重平均值	6.67%	11.42%	1.14%

^{※ 2022}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は8本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。